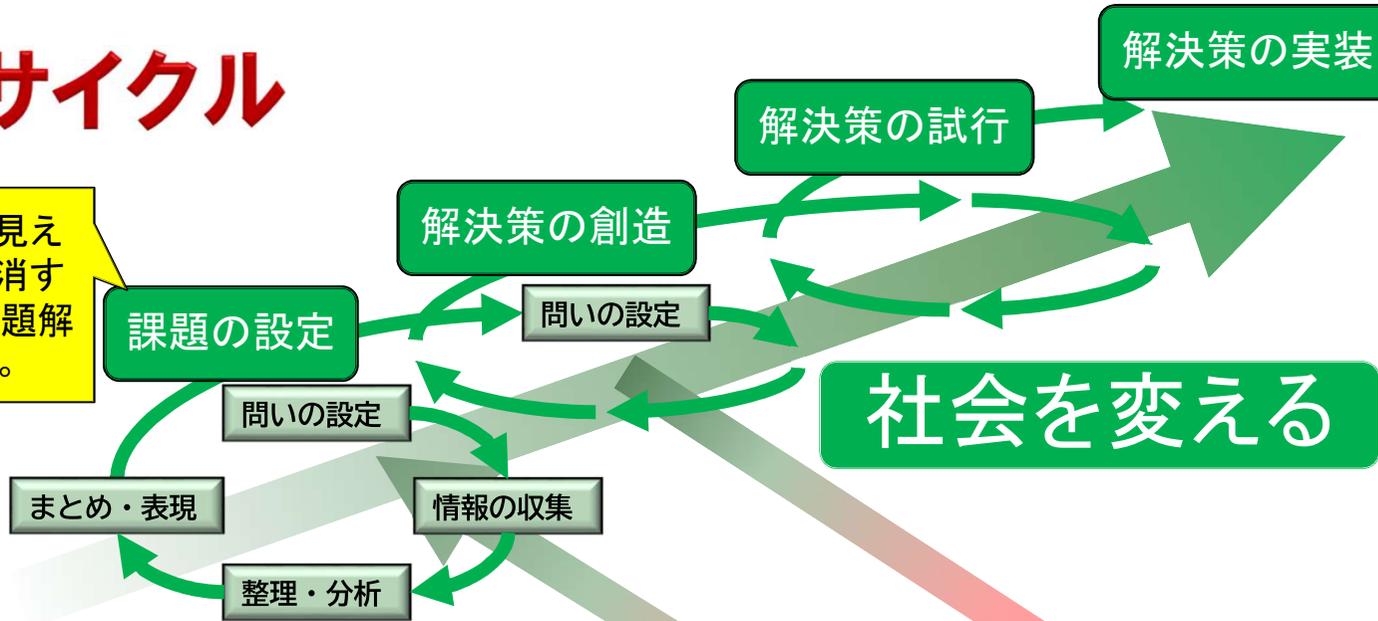
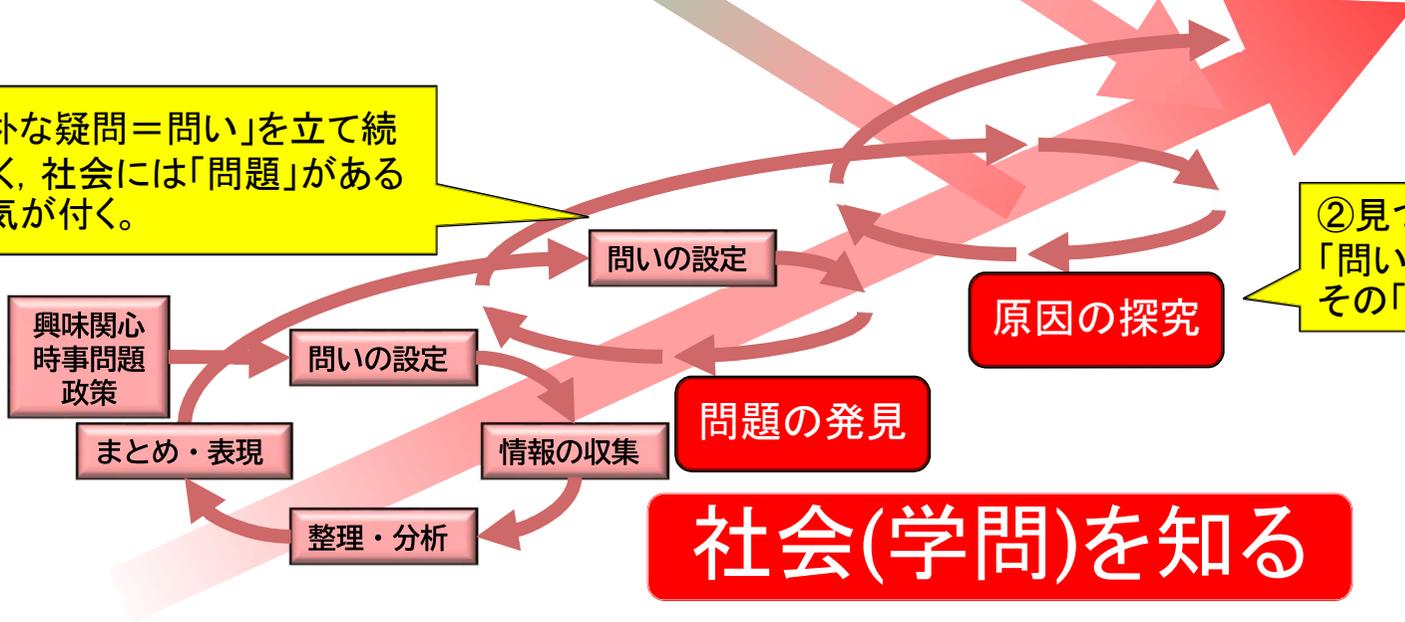


探究のサイクル

③問題の「原因」が見えてきたら、問題を解消するための「問い＝課題解決」を考え始める。

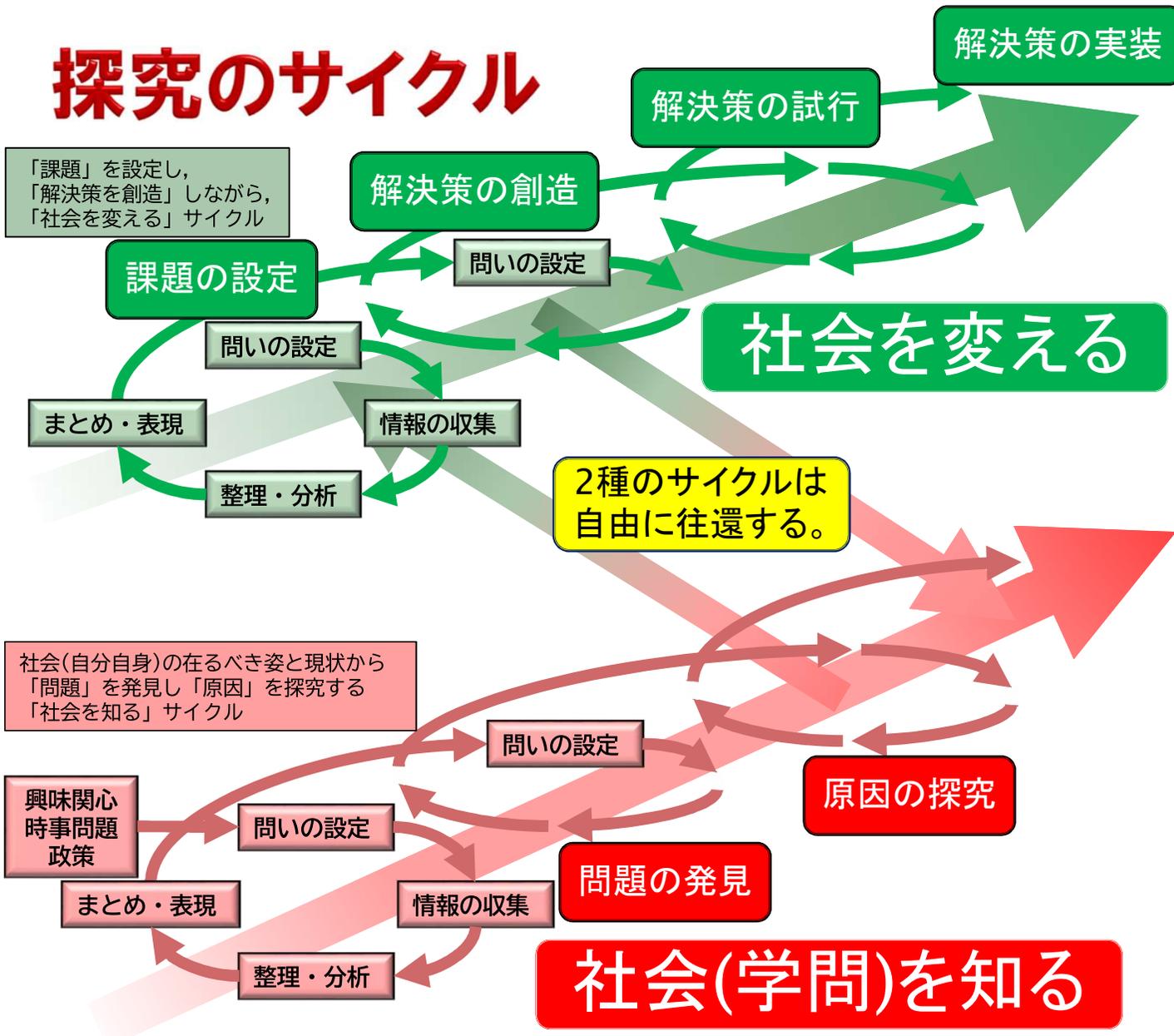


①「素朴な疑問＝問い」を立て続けていく、社会には「問題」があることに気が付く。



②見つけた「問題」について、「問い」を立て続けていくと、その「原因」が見えてくる。

探究のサイクル



「社会を変える」 生徒の「問い」の段階・学習イメージ

【課題の設定】 高崎で異年齢集団と体験活動ができる機会を増やすためには？
 →群馬の公教育で制度設計をするのは難しい。
 →じゃあ自分でやって先行事例にしちゃおう！

【解決策の創造】 高校生有志が近所の小学生を集めて体験学習会を開催する。
 →どんな体験活動を行えば良いのか？
 →小学生に周知するためには？広報は利用できる？
 →現地取材(高崎市広報課, 高崎市教育委員会, 高崎市の小学校)
 →開催場所や保険はどうしよう？
 →取材(NPO事業者, 保険会社, 公民館)
 →持続可能なものにするためには？費用は？人員は？
 →運営協力者にとってのメリットを確保するためには？
 →教育的効果を実証するためには？

【解決策の試行】 体験学習会を実施してフィードバックを得る。
 →フィードバックを踏まえ、教育的効果を検証する。
 →教育的効果が実証されたが、まだ課題が多いので、試行を続ける。
 →得られたフィードバックや収集したデータをまとめたことで、協力者も増えた。
 →取り組みを持続可能なものとして、社会に「実装」できた。

【解決策の実装】

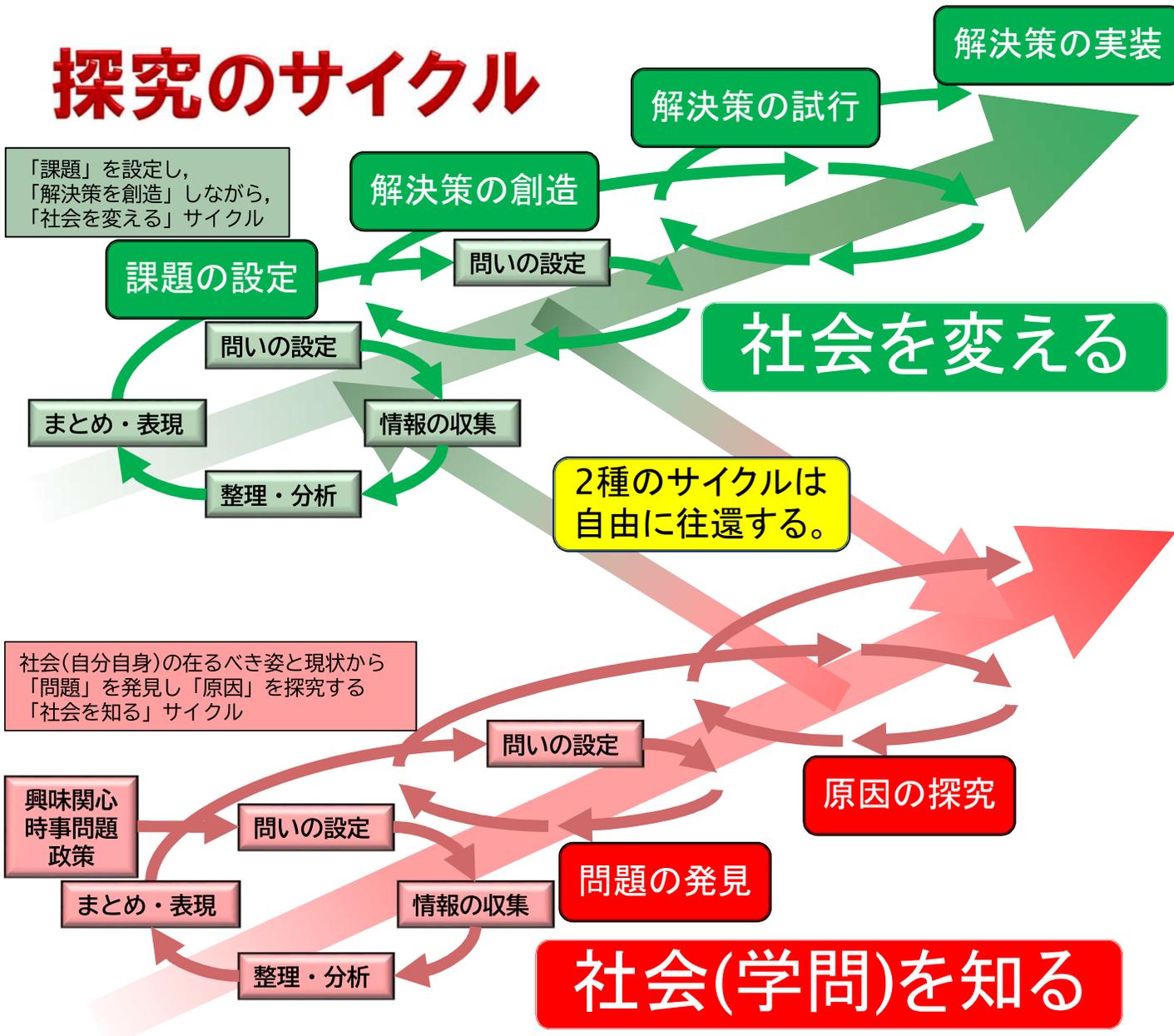
「社会(学問)を知る」 生徒の「問い」の段階・学習イメージ

【興味関心等のキーワード】
 子どもの主体性, 不登校, 教員養成, 海外の教育制度
 →自己肯定感が大事らしい？
 日本人の子どもの自己肯定感はどうなっているのか？
 自己肯定感と学習意欲等にはどんな関係があるのか？
 一人ひとりの魅力・能力を引き出せる教育環境の整備をするためには？

【問題の発見】 子どもの自己肯定感の低下により様々な弊害が生じている。
 →子どもの自己肯定感と年齢にはどんな傾向があるのか？
 自己肯定感を高めるためにはどんな教育があるのか？
 群馬の学校教育で実施できているのか？
 群馬の教師の研修の機会を充実させるためにはどうすれば良いのか？
 →現地取材(モンテッソーリ教育幼稚園, 不登校支援団体等)

【問題の原因】 ①異年齢集団と遊べる機会, 体験活動が少なくなっている。
 ②全員一律の教育システムに限界が生じている。
 →①、②のどちらの原因から解消すべきか？
 教育システムを変えることは難しい？どちらが面白そう？
 →課題の設定の段階へ！

探究のサイクル



「社会を変える」 生徒の「問い」の段階・学習イメージ

【課題の設定】 食育により地産地消を推進するためには？
 →群馬の公教育でカリキュラム設計をするのは難しい。
 →じゃあ自分でやって先事例にしちゃおう！

【解決策の創造】 地域の農家とその商品を題材にした「地産地消かるた」の作成
 →どの世代でも楽しむことができる食育とは？
 →より効果的な教育方法であるアクティブラーニングを取り入れた食育は？
 →農家の思いを届けられるようかるたは？
 →農家はどんな思いを消費者に対して持っているのか？
 →現地取材(群馬県内の農家)
 →どんなかるたデザインにするのか？
 →どんなビジネスモデルにするのか？
 →コンテストへの参加によるフィードバック
 →持続可能なものにするためには？費用は？人員は？
 →運営協力者にとってのメリットを確保するためには？
 →教育的効果を実証するためには？

【解決策の試行】 地産地消かるた体験会を実施してフィードバックを得る。
 →フィードバックを踏まえ、教育的効果を検証する。
 →教育的効果が実証されたが、まだ課題が多いので、試行を続ける。

【解決策の実装】

「社会(学問)を知る」 生徒の「問い」の段階・学習イメージ

【興味関心等のキーワード】
 食料自給率の低下、食料安全、農業、国産の消費、米離れ
 →地産地消が重要
 地産地消の推進に向けた取り組みは行われているのか？
 地産地消を推進するにはどうすればいいのか？

【問題の発見】 様々な原因から地産地消が衰退している。
 →食育により地産地消を推進することは可能か？
 どんな食育が効果的か？
 群馬の学校教育で実施できているのか？
 他県の学校教育で実施できているのか？
 食育を充実させるためにはどうすればいいのか？
 →インタビュー(東京農業大学国際食料情報学部 上岡美保先生、田中裕人先生)

【問題の原因】 地域の食について知る機会が少なくなっている。
 →課題の設定の段階へ！

分野によっては？

社会を変える

解決策の実装

解決策の試行

解決策の創造

課題の設定

問いの設定

「課題」を設定し、
「解決策を創造」しながら、
「社会を変える」サイクル

問いの設定

まとめ・表現

情報の収集

整理・分析

その場合は、社会(学問)を知る
サイクルにもどり、もっと突き詰
めて、高校卒業後の学びと解
決策を結びつけていく。

高校卒業後に、解決策を創造、
試行し、解決策を実装していく。

「理工学」系など、テーマによっ
ては高校時代に解決策の創造
や試行が困難なものもある。

「社会を知る」サイクル

問いの設定

原因の探究

興味関心
時事問題
政策

問いの設定

問題の発見

まとめ・表現

情報の収集

整理・分析

社会(学問)を知る